



36歳からの挑戦 「一番難しいことは、はじめてこと」

ブルガリア代表としても活躍したイリアン・ストヤノフ。

2007~2010年にはサンフレッチェ広島でもプレー。

センターバックらしからぬボールコントロール技術の持ち主で、

テクニックを活かした攻撃的なスタイルは、

2011年に現役を引退した後もファンを魅了しつづけている。

そのストヤノフが拠点を山口県に移し、夢の実現に向け動き出している。

あふれる夢を現実に

ブルガリアの代表にも選出され、長くプロサッカー選手として活躍してきたストヤノフ。彼は幾つもの夢を持ち、次々と行動に移していく。この行動力はどこからくるのか。現役を引退した後から、現在に至るまでの経緯と、今後の夢について語ってもらつた。

ストヤノフは、引退後すぐ行動した。それは、現役時代からの夢だったという「自分のレストランを持つ」こと。その夢が現実となるのは引退から6ヶ月後のこと。早い段階でオープンできているように見えるが、実は相当の苦労があったらしい。ストヤノフは、当時のことを「本当に大変だった」と振り返る。まず最初に訪れた困難はビザの問題だ。この問題をクリアしていくために、会社を作り、シェフを探し、レストランの場所を探す毎日。「2時間のハードな練習よりも難しかった。」面白い表現ではあるが、慣れないことは本当に大変だったのだろうと想像できる。

そんな一連の問題をクリアし、環境を整えるのに予想以上の時間を費やしたようだ。ストヤノフはブルガリアでも店を経営した経験はある。そんな彼も「ビジネスについて全然分からなかつた」と言うように、異国の地でビジネスを始める事は想像以上に難しかったことだろう。しかし、これまで培ってきた経験と人脈、そして彼自身の行動力で、このような困難を乗り越え、めでたく2012年7月にレストランのオープンを迎える。そして1年以上経つた今でも、ストヤノフのレストランには現役時代を知る多くのサポーターが訪れ交流を楽しんでいるそうだ。「今は喜んでいます。難しかつたけど、達成できた」と、語る表情は誇らしく、そして充実感があふれていた。



夢の舞台は 広島から山口へ

そして、次の夢を実現させるため、ストヤノフは拠点を広島から移し、現在は山口県に来ている。その夢とは「サッカースクールを開設する」こと。

<経歴>	
ブルガリア代表 1998~2010	
1995~1996	CSKA ソフィア
1996~2000	ヴェバシュトキュステンディル
2000~2005	レフスキソフィア
2005~2007	ジェユナイティド千葉
2007~2010	サンフレッチェ広島
2011	ファジアーノ岡山

イリアン・ストヤノフ
生年月日：
1977年1月20日
出身地：
ブルガリア

見事取得している。「出来る様になることが一番のモチベーション」と言うように、問題を一つずつクリアし、次の目標に向かって、今も勉強を続けている。

インタビュー最後に「夢が次々に出てくるから、立ち止まることが出来ないんだ。」そう言つて笑つたストヤノフ。彼の挑戦は、この山口県から新たな一步を踏みだそうとしている。

「一番難しいことは、はじめてこと。そして、今はじめる事が大切」誰でも新しいことにチャレンジするのは勇気とエネルギーが必要となる。しかし、ストヤノフは、現役時代のプレースタイル同様、積極果敢に、今も、これからも挑戦し続ける。

(取材・石橋 輵洋)

いる。目標は当然プロ選手の育成。しかし、ストヤノフには、もっと大切にしているものがある。それは「サッカー選手になる前に、一人の人間として成長して欲しい。」という想い。「良いサッカー選手を育てたい。良いサッカー選手とは、テクニックが上手くなることと同じくらいに、自分の人生を大切に出来る人間だと考えています。」ストヤノフは、これまでのキャリアの中で、サッカーしか学んでいなかつた選手たちが怪我やアクシデントに遭つてしまつた後に、ソライ困难が待ち受けているのを目の当たりにしている。その経験と、プロ生活で培つた経験を活かし、テクニックだけではなく人間性も高められるスクールを作りたいと語つた。